

米山記念奨学事業について

地区米山記念奨学増強委員長 新井登志彰様

米山奨学事業の概要

日本のロータリーが作り育てた独自の事業で、34 地区、全地区が参加する多地区合同プロジェクトです。1952 年に事業が始まって以来、一貫して、日本で学ぶ外国人留学生を支援しています。

「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」というのは、この事業をおこなうために、日本のロータリーが協同して運営する奨学財団で、財源はすべてみなさんからのご寄付で成り立っています。

この奨学金の最大の特長は「世話クラブ・カウンセラー制度」です。今はコロナで難しい部分もありますが、米山奨学生にはロータリー活動に参加してもらい、交流することを大切にしています。カウンセラーになると、ロータリークラブの活動そのものに熱心になる方も多く、家族ぐるみの国際交流を体験することができます。

実際に、米山奨学生との交流で刺激を受けた長女がカナダに留学した、という報告例もありました。

(2021 学年度カウンセラーアンケートより)

「米山基金」から 70 年

終戦翌年の 1946 年、“日本のロータリーの父”と呼ばれる 米山梅吉氏が亡くなりました。3 年後の 1949 年、戦争のため解散を余儀なくされていた日本のロータリーが、国際ロータリーへ復帰します。

戦後の落ち着きを取り戻すにつれ、梅吉氏の功績を永遠に偲ぶことができるような、何か有益な事業をやろうではないかという声が大きくなってきました。

当時の日本はまだ食糧事情もはかばかしくなく、会員たちは「クラブへ行けばお茶を入れてもらえる」と、弁当を持参し、トープを囲みながら熱心に議論をしていたそうです。

(『ロータリー米山記念奨学会 25 年史』より)そして 1952 年、東京 RC が「米山基金」の構想を発表しました。

これは、アジアから優秀な学生を招いて学費を援助し、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために“平和日本”を肌で感じてもらいたい、というものでした。この「米山基金」が、わずか 5 年で日本の全ロータリークラブの共同事業となり、1967 年には財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立されました。

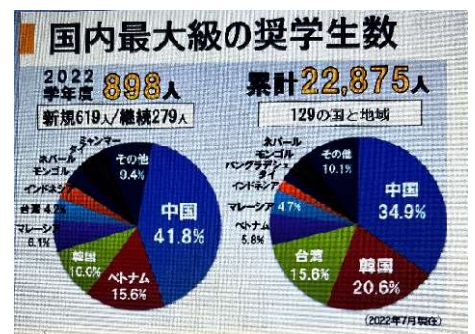


国際ロータリーと米山

米山奨学事業は、日本のロータリーが独自の活動として発案し、発展してきました。当然、国際ロータリーのプログラムではないので、RIで取り上げられることもありませんでした。そうした関係が次第に変化してきたのは 2000 年に入ってからです。2004 年 11 月の RI 理事会では、「奨学金の授与を通し、世界理解と平和に貢献されている財団法人ロータリー米山記念奨学会を称賛する」とされ、ロータリー米山記念奨学会が「多地区合同奉仕活動」(現在は多地区合同活動)の手続きを取ることに、ロータリーの名称やロータリーマークを今後も引き続き使用することを認める、ということが決議されました。2007 年には全 34 地区からの同意を得て、RIの定める多地区合同活動として、すべての手続きを完了しました。そして 2014 年 1 月の RI 理事会では学友の定義が拡大され、米山学友も「ロータリーの学友」となりました。これを受けて、2016 年のソウル国際大会には世界中から多くの米山学友が集まり、ロータリーファミリーの一員として参加したのです。

米山奨学金と奨学生

米山は、外国人留学生を対象とする民間の奨学金では、国内最大規模です。2022 学年度は、日本全国で 898 人(前年度 910 人)が採用され、各ロータリークラブでお世話をいただいています。累計では世界 129 の国と地域から 2 万 2,875 人を支援しています。累計では中国、韓国、台湾が多いですが、ここ数年でベトナムからの留学生が急増しており、現役奨学生の中では中国に次いで多くを占めています。



奨学生の決定と選考

米山奨学生の採用は、全国統一の基準があります。「将来の目標・留学の目的がきちんとしているかどうか」「交流への熱意があるかどうか」「人柄の良さ」「コミュニケーション能力の高さ」詳しい評価項目は公表していませんが、全国統一の評価項目を使って、各地区の選考委員会が面接選考をしています。もちろん、応募書類の審査もしています。

ロータリー米山記念奨学会は 2012 年に公益財団法人となり、より一層の公平性・透明性を確保するため、このように全地区共通の選考基準で選考をしています。

そのうえで、例えば「国籍や県別割合の調整」「地区独自に実施するグループディスカッションの評価」など、地区の裁量を加えて良いことになっています。米山奨学金はお金に困っている留学生の経済支援ではありません。

珍しい国だから、生活に困っているから、学校の成績が優秀だから…。いずれも、ただそれだけでは米山奨学生に合格しないのです。

寄付金の推移

米山奨学会への過去 20 年間の寄付金ですが、2001 年には約 17 億円あった寄付金は、近年ではだいたい 13~14 億円となっています。米山には、クラブから会員数分を納める形の「普通寄付金」と、それ以外に、個人・法人・クラブから、任意で支援していただく「特別寄付金」の 2 種類があります。いずれも奨学事業に使用されるものですが、特別寄付金の方は、寄付をした個人や法人の実績となり、表彰の対象となります。